

## 「生涯学習推進施設運営委員会」における主な意見と当研修センターの考え方

### 意見①

公民館等職員、社会教育委員ともに職務経験による差を意識した研修体系を考えておく必要があるのではないか。初心者向けの研修は、参加者の職務のベースとなるものであると考えて研修を提供してほしい。

### 回答

当研修センターでは、公民館等職員や社会教育委員、市町村社会教育担当者、その他社会教育に関わる方等で経験3年程度までの方を広く対象とした「しまねの社会教育基礎講座」を実施しています。これは5つの教育事務所と連携し、県内5会場で地域密着型の研修を開催し好評を得ています。

当研修センターの研修体系は、平成26年度より全面改訂し、従来の能力別の研修体系から、経験年数によるステップアップできる対象者別の研修体系へとシフトしました。

職務経験の応じた現在の研修体系は、下の表の目安をもって内容を企画しています。

社会教育 研修センター 主催研修	研修の対象者					職務経験に応じた内容		
	市町村社会教育担当者	公民館等職員	社会教育委員	コーディネーター	その他社会教育関係者	概ね1～3年の方	3～5年経験の方	5年以上経験の方
しまねの社会教育基礎講座	○	○	○	○	○	←→		
公民館等職員研修	○	◎			○	←→		
ファシリテーター養成講座	○	○	○	○	○	←→		
コーディネーター研修	○			◎	○	←→		
社会教育委員研修	○		◎			←→		
社会教育主事講習 [B]	○	○	○	○	○	←→		

※「市町村社会教育担当者」には、派遣社会教育主事を含みます。

※「その他社会教育関係者」とは、家庭教育支援にかかわる方、集落支援や地域振興にかかわる方(NPO法人を含む)等、学校教育以外で組織的な教育活動を行っている人を指しています。

### 意見②

「社会教育基礎講座」という研修名について、もう少しやわらかい表現になると経験の浅い方でも参加しやすくなると思うがどうか。

### 回答

「しまねの社会教育基礎講座」は、「『社会教育』は、これからの地域づくりのために動く人づくりをめざしている」ということを、講義や実践発表を通して理解していただく講座です。研修名の変更は考えておりませんが、副題(サブタイトル)等にやわらかい具体的テーマ等の表現を用いることで、堅いイメージを払拭し、初心者の方にも気兼ねなく参加していただけるように工夫するとともに、市町村担当者へ丁寧に説明していきます。

### 意見③

島根県は、人を育てて豊かになろう、地域を良くしていこうと思って社会教育をやっていると認識している。実際に社会教育の現場(公民館等)においては、地域住民の自治能力の向上をめざして、日々業務を行ってきているが、市町村担当者にその意識がやや欠けているように思う。市町村の担当者を対象にした啓発研修を行うことが大切ではないか。

### 回答

当研修センターの研修では、「対象者別研修」(兼)市町村担当者研修と位置づけ、市町村担当者へも受講を呼びかけています。また、市町村担当者には、各市町村から参加される方の研修支援者、今後の伴走者としての役割も期待しています。さらに、市町村担当者へは、県教育庁社会教育課が実施する「派遣社会教育主事等研修」(第2回目)を市町村担当者研修と兼ねて実施しているため、県の社会教育行政の方針や考え方、事業の進め方等について共に学ぶ機会としています。引き続き、研修の意義や必要性を理解してもらえよう、市町村担当者への研修参加を勧めていきます。

### 意見④

新しい「地域魅力化プログラム」を普及していくために親学ファシリテーターをうまく活用していくことは考えているか。

### 回答

親学ファシリテーターは「親学プログラム」の普及や各地域における家庭教育支援に大きな役割を果たしています。そのために親学ファシリテーターは、親学プログラムを進行する各自の実践によりファシリテーションスキルを高めています。一方で、地域課題解決のためのファシリテーターとして期待されると親学ファシリテーターが担ってきた役割とは異なる点があり、負担を感じられることもあると思います。

また、「地域魅力化プログラム」が活用される現場は、地域課題解決をめざした話し合いの場や機会であり、そうした現場で活躍するためには、実態把握や課題の捉え、役割分担など、市町村担当者や公民館等職員や集落支援員等の方との綿密な打合せや計画づくりが一層必要だと考えます。当研修センターでは引き続き、次年度以降も「地域魅力化プログラム」を活用して話し合いの場ファシリテーションできる人材養成に力を入れていきます。

### 意見⑤

市町村担当者和社会教育実践者が集まる機会がほしい。連絡会議を開いてほしい。

### 回答

当研修センターの研修の目的は、「社会教育の人材養成」であることから、市町村担当者和社会教育実践者の方との連絡会議を開催する考えはありません。ただし、主催研修において、研修プログラムの一環として市町村担当者和社会教育実践者の方のグループ協議を設けているものはあります。

各教育事務所管内においては、各地区公民館連絡協議会や各地区社会教育委員連絡協議会等の会議や研修会が開催されていますので、そのような機会をご活用ください。市町村内の連絡会議については、各市町村担当者にご相談ください。

### 意見⑥

「公民館等実態調査」へ入力する調査項目について、簡単にデータ入力できるソフトがあると助かる。

### 回答

現在、「公民館等実態調査」の調査項目について、島根県公民館連絡協議会事務局(県教育庁社会教育課)と協議し、現場の公民館に有益なデータを提供できるように調査項目の見直しをかけています。次年度以降、簡素化していく予定です。また、データ入力が複雑である部分については改善を図ります。